

東海テレビ・フジテレビ系全国ネット

東海テレビ×FOD 共同制作

土ドラ

バントマン



写真① 芋川 出 (岡田圭右)

2024年12月7日(土)23:40

"バントの名手?" 岡田圭右

芸人はツーアウト満塁で打席に立つ代打!

ドラマはいよいよクライマックスへ。鈴木伸之主演、東海テレビ・フジテレビ系土ドラ『バントマン』(毎週土曜日23時40分)は、今夜が第9話。野球で例えてもクライマックスのイニングであり、登場人物それぞれが、大きな決断を迫られる。

今回は、櫻田誠一郎(坂東彌十郎)のドライバーである茂上(佐野史郎)の処遇をきっかけに、SBO部(秘密の福利厚生組織)、そしてバントマン誕生のきっかけが明らかに。その調査を進めるために大翔(鈴木伸之)らが頼ったのが、岡田圭右演じる芋川だった。

先週に続き今週も登板となった岡田は、大の野球好き。「全ての道は野球に通じるー」ドラマのメッセージを地で行く生き様がみえた。

「バントの名手」だった岡田少年 あの名選手との対戦！

—— 大の野球好きで知られていますが、ご自身の野球の思い出を教えてください

岡田 少年野球時代から、試合ではよくバントをしていました。かなり上手かったと思うし、実際に監督も何かというと「バント！」とサインを出してきて。だから今回出演させていただく時に『バントマン』というタイトルを聞いて、まさに自分にピッタリのドラマだなと思いましたね。

写真② 芋川 出（岡田圭右）



—— バントの名手ということは、思い出深いバントもありますか？

岡田 ありますよ！ 岡田圭右伝説の一つに「清原 vs 岡田」という逸話がありまして。あの清原和博さんと岡田少年は、岸和田リトルリーグ時代に対戦しているんです。当時の清原さんは 4 番でエース、ピッチャーとしても凄くて、小学生の中に一人だけ高校生がいるような存在感を放っていました。そんな清原さんと一打席だけ対戦する機会がありまして。ピッチャー・清原 vs バントの名手・岡田！ この名勝負の結果は…、まさかのスリーバント失敗でした(笑)。

芸人は ツーアウト満塁で打席に立つ代打

—— 普段の生活にも「野球の考え方」みたいなものが反映されるのでしょうか？



岡田 そうですね。後輩にもよく「フルスイングして帰って来い」と言いますし。何より芸人って、全てのお仕事に対して「ツーアウト満塁で指名された代打」の気持ちで臨まないといけないと思うんですよね。そこでなんとか爪痕を残していくことが重要。私の場合は結果的に、ヒットというよりも振り逃げでどうにか爪痕を残してきたのですが(笑)。

写真③ 前列 芋川 出（岡田圭右） 後列 根鈴華（倉科カナ） 柳澤大翔（鈴木伸之） 藤堂俊介（平原テツ） 吉岡葉留樹（阿久津仁愛）

—— では、「ここは敢えてバントに徹する」といった場面も？

岡田 当然ね、お笑いには皆で作り上げるようなところもありますから。バラエティ番組でいろんな芸人さんがいる時、「ここで自分はヒットを狙わず、バントに徹して相手を立たせよう」みたいな場面は少なくありません。そういう連携プレーは常に意識しています。

—— 今回は俳優としてのご出演ですが、どのような点がお笑いとは異なりますか？

岡田 お笑って、ある意味「一発勝負」の部分があると思うんです。それに対して俳優さんのお仕事は、何度もリハーサルを重ねて本番に臨むわけで、毎回きっちり同じことをしなければならない。芸人なら「何かさっきと違ったことをしてやろう」という気持ちが抑えきれない。だからリハを重ねて精度を上げていく俳優の皆さんのことは、芸人みんなが尊敬していると思います。



写真④ 芋川 出（岡田圭右） 柳澤大翔（鈴木伸之）

クローザーとして最後を締める、まさに閉店ガラガラ!?

—— 今回の芋川出とは、どんな役なののでしょうか？



写真⑤ 芋川 出 (岡田圭右)

岡田 野球雑誌などに寄稿するフリーライターという役どころで、野球を陰から支えるという意味では、彼も玄人の中の玄人、ある意味バントマンですよね。私の場合、ドラマのお仕事を数年に一度いただいていた、まさにハレー彗星のような役者人生なのですが(笑)。今回のスタッフの皆さんは非常に優しく、関西弁のままでいいよということで、岡田圭右に寄せてもらって芋川を演じさせてもらっています。

—— 梶間(石川瑠華)の師匠という役どころですが、石川さんの印象は？

岡田 年齢的には若い方ですが、役者としては自分よりも大先輩だし、何よりプロフェッショナルですよ。スコアブックに書き込むシーンがあるんですが、プライベートでもスコアブックに記入しながら野球観戦をするようになったそうです。私は「熱狂的オリックス・バファローズファン」を自認していますが、スコアブックの記入方法は知らないのです。それができるようになると、野球の見方もきっと変わるだろうなあと感じさせられました。



写真⑥ 芋川 出 (岡田圭右) 梶間響子(石川瑠華)

—— 今後の見どころと、視聴者の皆さんへのメッセージをお願いします。



岡田 ドラマも終盤に近づいたところで登場する芋川は、野球に例えるなら「切り札」的な存在でしょうか。クローザーとして最後を締める、まさに閉店ガラガラ。そんな意味合いもあるのではないのでしょうか(笑)。それとこのドラマはバントにスポットを当てているわけですが、球威を殺し自分の欲も抑えるバントには、ホームランやヒットよりも人間性が出ると思うんです。

写真⑦ 吉岡葉留樹(阿久津仁愛)藤堂俊介(平原テツ)芋川 出(岡田圭右) 柳澤大翔(鈴木伸之)根鈴華(倉科カナ)末松透子(福田ユミ)

そう考えるとバントは戦術としても非常に深いし、それを知ると野球をより楽しく見られるのではないのでしょうか。このドラマを通じて野球に興味を持つ人が増えることも、いち野球ファンとして願っています。

【第9話あらすじ】

櫻田社長(坂東彌十郎)の秘書を務める末松(福田ユミ)が、ある日バントマンの作戦室にやってくる。櫻田のドライバーである茂上(佐野史郎)が、縁石に車をぶつけるといった接触事故を何度か起こしたというのだ。櫻田の身を案じ、大きな事故を起こす前に契約を打ち切りたいと相談する末松。しかし自らもドラゴンズとの契約を打ち切られた経験がある大翔(鈴木伸之)は気が乗らない。さらにバントマンたちが調査を進めると、茂上には意外な過去が隠されていたことが分かるのだった。



写真⑧ 茂上次晴(佐野史郎) 櫻田誠一郎(坂東彌十郎) 柳澤大翔(鈴木伸之)



写真⑨ 茂上次晴(佐野史郎)

概要

【放送日時】 2024年10月12日(土)~12月21日(土)

毎週土曜 23時40分~24時35分 / 全11回(予定)

【出演】 鈴木伸之 倉科カナ 平原テツ 阿久津仁愛 石川瑠華 和田雅成 熊谷真実
/ 朝加真由美 モロ師岡 / 坂東彌十郎

【脚本】 矢島弘一 富安美尋

【音楽】 斎木達彦

【主題歌】 鈴木伸之『生涯HERO』(Sony Music Labels)

【オープニング曲】 WOLF HOWL HARMONY『ROLLIN' STONES』(rhythm zone)

【演出】 千葉行利 丸谷俊平

【企画】 市野直親(東海テレビ)

【プロデューサー】 遠山圭介(東海テレビ) 馬場三輝 (ケイファクトリー)

【制作協力】 ケイファクトリー

【制作】 東海テレビ FOD

〈広報担当〉

■ 東海テレビ 東京編成部

コーポレートブランディング部

山本聡美 TEL:03-3503-1391

金岡未紗 TEL:052-954-1131